

インディアナ日本語学校便り

だいごう
第8号

令和5年6月17日事務所 317-255-1631 メール ijls@indiana-j-school.net

(HP) <http://www.indiana-j-school.net>

校長 森 勝義

「挑戦する心！」



～やる気を引き出す～

校長 森 勝義

突然ですが、保護者の皆様はどのような時、どのような状況下で「やる気」スイッチが入るのでしょうか。どうすれば、子どもを「やる気」にさせることができるのでしょうか。

個人差はあると思いますが、私自身の教員生活 40 数年を振り返りますと、あることに興味が沸き、知的好奇心をかき立てられた時、あることに挑戦したい、もっと知りたいと探究心が起こった時、達成感や満足感を味わった時、ほめられた時、認められた時、そのような時、やる気が起きていました。

子ども自身が「やる気スイッチ」を押す時とは、達成感や満足感を味わいたい時、ほめられたい時、認められたい時ではないでしょうか。これらのキーワードは目標です。将来の夢や希望は、遠い先のことです。「やる気」は自身の置かれている環境で、目の前にある「目標」を達成したり、保護者やコーチ、先生から「やったね!」「すごいね!」「輝いているよ!」とほめられると、次の目標を設定することに繋がり、ステップアップにもなります。

日本語学校で言えば、9月に行われる運動会です。学習でいえば漢字や計算の小テストがよくできた、よくわかった、文章問題もよくわかるようになった等の、具体的な実感です。10月に実施される漢字検定挑戦もその一つです。

友達との比較ではなく、自分に合った目標を立てること。「繰り返しと積み重ね」の違いを子どもに理解してもらうことです。できたことやわかったことを積み重ねていくんです。

保護者の出番としては、できたとき、わかったとき、点数が上がったとき、タイミング良く「ほめる」ことです。子どもの頑張りをまず、認めて「ほめてあげる」ことこそが、やる気を育てる秘訣の一つです。失敗したときは「惜しかったね」など、次へのやる気につながる声かけが必要です。毎日の生活を通して子どもをよく知り、よく理解し、子どもに自信がつくほめ言葉を見逃さずにかけていきたいものです。

* 200字作文「子どもが得か、大人が得か」

(6年2組では、9対2で、子どもの方が得という意見でした)

小村 航太

ぼくは、大人より子どもの方が得だと思います。なぜかと言うと、自由な時間や、遊んだり勉強したりする時がたくさんあるからです。大人になったら、好きな事が出来る時間が少なくなってしまうからです。子どもだったら、学校の授業でやる実験や、運動会などの行事や、色々な所に行って、その場所で体験ができます。校外学習では、友達との仲が深められます。そのような子どもの時にしか体験出来ないことがたくさんあるからです。

檜皮 莉那

私は、子どもの方が得だと思う。理由はいくつかある。今回は三つの例を挙げる。1つ目は、入場料や電車賃が大人より安いから。2つ目は、大人より責任感が少ないから。3つ目は、大人より

好きな事が出来る時間が多いなどだ。私は、大人と子どもとどちらがいいと言われたら、子どもだが本当はどちらもいいと思っている。大人の方が、子どもより出来ることが多い。だが、さっき挙げた3つの理由のように、子どもの方が得なことが多いと思う。

石澤 真愛亜

私は、大人が得だと思います。なぜかと言うと、大人になったら仕事が出来からです。仕事が大変だけど、その分働いたらお金をもらって、好きな物を買えるからです。あと、大人になったら、遠い所に行ったり出来るからです。そしたら、好きな事ができます。なので、私は大人になって、自由に好きな事をしたいです。あと、自分の将来の夢に近づけるようにがんばりたいです。

堀尾 心那

私は、大人の方が得だと思います。理由は2つあります。1つ目は、選挙権があるからです。大人になると自分が好きな代表を選ぶことができます。子どもか、18才以下の方は、選挙権がないので大人の方が得です。2つ目は、好きな事にお金が使えからです。子どもは、おこづかいをもらえて、何か物を買う時は、お父さんやお母さんの許可が必要です。でも大人は、自由にお金をつかえるから得だと思います。

俳句 5年2組

夏休み 宿題いっぱい かなしいな

伊藤 咲姫

夕涼み 光がすーっと ほたるかな

岩谷 颯樹

夏休み 学校なくて 自由だな

奥谷 晏司

見上げると 星がかがやく 夏の空

門脇 歩夢

宿題が 絶望的な 夏休み

高橋 花帆

ランドセル 桜咲く中 入学式

永野 愛佳

夏の夜は 外がすずしく 気持ちよい

羽田 康生

桜の木 桜の花びら 舞い踊る

町田 柚輝

夏休み 旅行いきたい どこ行こう

松島 想果

かき氷 早く食べたい まあだかな

水野谷 龍紀

夏休み アイスcream おいしいな

都澤 世爾

きれいだな ぴかぴか花火 ひかてる

ロス 実夏



ヒゲ森の言葉の森・探検

めん ペき く ねん

面壁九年

脇目もふらず長年、一つのことに努力するたとえ。中国の達磨大師が少林寺にこもり、九年という歳月の間、壁に向かって座禅を組み、ついに悟りを開いたという故事。

誰だって、ほんとうにい
いことをしたらいちばん
幸せなんだねえ



宮沢 賢治（みやざわ けんじ）

1896年～1933年。詩人・童話作家。

人間は、他者のためになることをしたとき、とても幸福で充実した気持ちになるものだ。